

科目名称 ソフトウェア保守

概要 ソフトウェア保守の概要と保守支援技術について学ぶ。

前提知識 プログラミングやコンパイラに関する知識。

教科書 使用しません

参考書 ・辻野嘉宏 コンパイラ 昭晃堂(1996)
 ・山田 茂, 高橋 宗雄 ソフトウェアマネジメントモデル入門—ソフトウェア品質の可視化と評価法 共立出版(1993)

第()回	担当名	タイトル	講義内容
第1回	楠本真二	ソフトウェア保守の概要	ソフトウェア保守の概要、ソフトウェア保守における諸問題等について説明する。
第2回	楠本真二	保守の見積	新規開発と同様にソフトウェア保守作業についても、保守規模や保守工数の見積は保守計画を作成する上で必要な作業である。本講義では、ソフトウェア保守の際に用いられる見積手法や見積モデル等について紹介する。
第3回	松下 誠	ソフトウェア理解支援	ソフトウェア保守作業では、先ず、保守対象のソフトウェアの全体的な理解や保守範囲を把握する必要がある。本講義では、プログラム理解や影響波及解析手法について紹介する。
第4回	井上克郎	コードクローン検出と分析	コードクローンとは、ソースコード中に存在する、他のコード片と一致または類似しているコード片を意味する。一般にコードクローンはプログラムの保守性に悪影響を与える要因と言われている。本講義では、コードクローンの検出方法、分析方法について紹介する。
第5回	松下 誠	ソフトウェア修正支援	保守作業において、ソフトウェアを修正する時には、過去に実施された類似の修正作業に関する情報を再利用することが有効であることが知られている。本講義では、バージョン履歴情報から、保守を行う上で有益な情報を効率よく検出するための手法について紹介する。